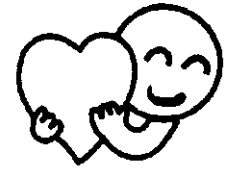


# クラブハウス

マネジメントサービスによる  
利用者参加と協働形式  
の地域生活支援

日本社会事業大学 寺谷隆子2004.1.29



# 新しい独自のサポートを創出する 利用者参加を奨励する協働支援活動

少子高齢・経済構造の激変・国際化社会

心身障害・不安、排除や摩擦、孤立や孤独

\* 情報提供・情報交換の見守りと介入

\* 共通の課題を有する人びとの定期的交流の場、  
仲間づくり

(社会福祉のあり方に関する検討委員会報告2000.12)

\* 同じ体験をしたものが相談・支援に効果的である  
との視点に立って連携する

(障害者ケアマネジメントの普及に関する報告2001.3)

# 包括的地域生活支援プログラムACT

- ・重度の精神障害者の地域生活支援

最も顕著な機能障害: 思考や計画・社会性や  
感情表出・行動や興味・不安管理

- ・多職種によるチームアプローチ

精神科医・精神保健福祉専門家(精神保健福祉士、臨床心理士、職業リハビリテーション、利用者、プログラムアシスタント、準専門的ソーシャルワーカー、その他

- ・利用者中心のアプローチ 職員1:利用者10

- ・24時間365日アクセス可能なサービス

## クラブハウスの哲学

### クラブハウスの基本的考え

- \* 欠点に注目せずに長所に注目する
- \* 患者やクライアントではなくメンバーである
- \* してあげることではなく、一緒にすることである
- \* 社会での実際の仕事に就くこと、クラブハウス内での役割分担作業をすることが意味ある仕事である
- \* 仕事に就く準備の出来ている人、出来ていない人にも平等に仕事の機会は与えられる
- \* 過渡的雇用はリハビリテーションそのもの、同時に通常のフルタイムの仕事につくことを支援するもの。

### クラブハウスの基本原則(メンバーの権利)

1. だれでも来ることが出来る
2. いつでも帰ってくる事ができる
3. 意味ある人間関係を持つ
4. 意味ある仕事につく

1982年障害者雇用に関するアメリカ大統領諮問委員会ジョン・ビアード報告

# 世界クラブハウス連盟規約に基づく 世界共通の支援活動

- ・民間の運営主体であり、行政の承認を受けたもの
- ・運営は、メンバー参加のもとに行なわれる
- ・自助活動を中心に、相互支援活動を推進する
- ・交通の利便を優先させる
- ・クラブハウス内の仕事には、報酬は支払われない
- ・過渡的雇用プログラムをもつ
- ・夜間、週末プログラムをもつ
- ・独自の理事組織をもつ
- ・独自の住居サービスをもつ



## [クラブハウス]サンマリーナ



- ◆世界クラブハウス連盟規約に基づく世界共通の地域生活支援システム
- ◆ハウス運営のための仕事(事務、喫茶軽食、会議、情報、教育・研修ユニット等)に、自分の都合や希望に合わせて選択して参加。
- ◆過渡的雇用: ジョブコーチとピンチヒッター
- ◆友愛訪問: 仲間同士の自助活動を基本とした相互支援活動
- ◆フォーラム「ユーザー会議」の企画、開催

[板橋区単独精神保健福祉事業]

# クラブハウス「サン・マリーナ」

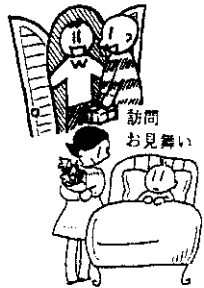
## 利用者が参加し協働する 包括的な地域生活支援システムのモデル

- サービスの手法と形態：マネジメントサービスによる相互支援の構築
- 関係性と援助特性：パートナーシップを基盤に、可能性を発揮するための機会と場を共に創る。
- 運営及び利用形態：参加と協働形式の自治的運営システム。クラブ会員として主体的に利用し、期待される役割を果たす。
- 構成員：メンバー90、マネージャー3、アルバイト5、コンサルタント（顧問医、就労相談員）
- 運営基準：行政の承認を受けた民間団体が、世界クラブハウス運営規則36にもとづいて運営する、世界基準。
- プログラム：包括的地域生活支援（ユニット：過渡的雇用・友愛訪問、食事提供、情報と教育、週末夜間の社交・フォーラム・ハウス運営上の受付、会計、事務、各種会議、施設管理など。）

# JHCサン・マリーナの活動

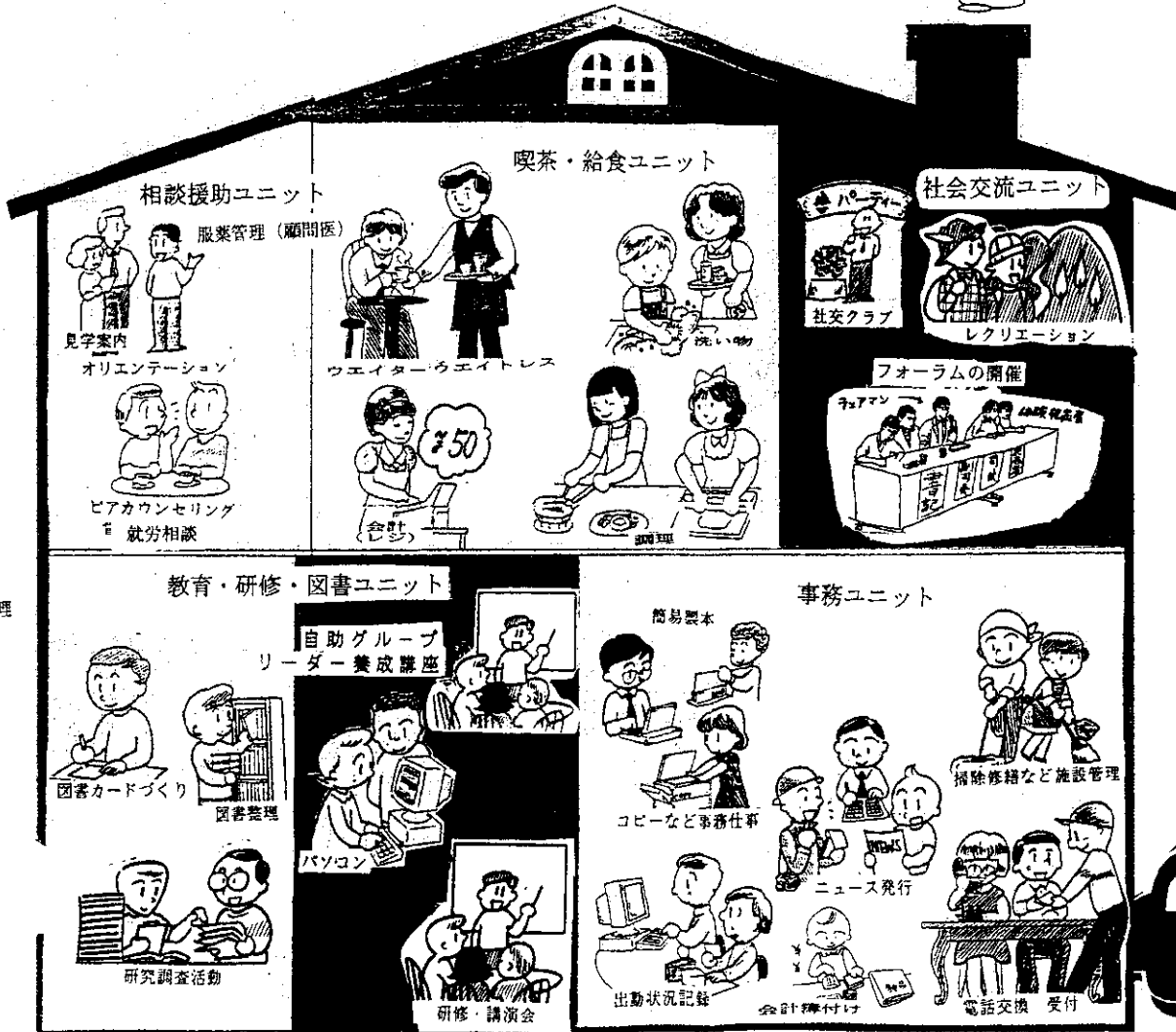
メンバー100人 職員(マネージャー)3人  
顧問 就労相談員(非常勤)

友愛訪問ユニット



グループホーム施設管理

不動産屋の仲介



国際交流

世界クラブハウス連盟

過渡的雇用契約事業所





# クラブハウスの支援機能





ケアマネジメント：生活のしずらさへのアセスメント  
願いと夢を理解して強み(固有の対処の仕方)を知る

- ・どのようなストレス環境と状況があるのか、その対処の仕方を知る(Coping Skill)
- ・どのような対人関係上の技能を持っているかを知る(Social Skill)
- ・どのような日常生活上の技能を持っているかを知る(Living Skill)
- ・どのようなバリアがあるのか、社会生活にどの程度影響しているのかを知る(環境と状況との全体性)
- ・どのような自立生活の支援ネットワークがあるのかを知る(支援環境の調整)

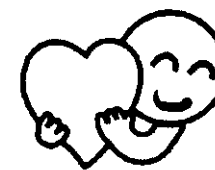
# 当事者参加と協働

## ピア・カウンセリング & ピア・サポート

ピアpeerとは、共通の経験を持つ仲間で対等な関係

- ピア・カウンセリングの働き  
自分と仲間の自立生活とQOLの権利擁護
- ピア・サポートの7つ責任CLIENTS
  - Confidentiality* 信頼関係
  - Listening* 傾聴
  - Information* 情報提供
  - Expressed Interest* 表明された関心を尊重
  - Network* 連携
  - Training* 訓練
  - Support* 支援



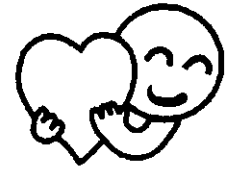


## 相互支援活動の強み

- 共通の経験と課題を共通基盤
- 課題に挑戦する勇気を分かち合う
- 役割モデルの教育力
- 信頼・意志の力・セルフコントロール重視
- 感情の自己表明を尊重
- 症状ではなく生活上の対処行動に焦点
- 自分が必要とし、他者に必要とされる存在
- その日その時の目標を達成する

サクラメント市コンシューマー・セルフヘルプ・センターPC研修

# 相互支援力の土台：ピアカウンセリング



可能性への気づきと自発的な行動を促すコーチ

- 共通の経験を基盤とする対等な仲間同士の関係
  - 援助技術の中心は、傾聴と情報提供
  - 解釈したりコントロールして相手を変えようとするものではない、自分のやり方生き方を自分でCHOICE
  - 互いの経験や気持ちを安心して話し合えること
  - 経験にもとづいた対処の仕方についての情報交換
  - 気持ちや感情を安心して語り、仲間の経験をモデルにして自由に選んで、やってみようという自信を持つ
- エンパワメントを分かち合う相互の支援過程

# ピアカウンセリングガイドライン-CHOICE-

自分の価値観や信念をあてはめない

第一の役割は傾聴すること

相手の希望、権利、価値観を尊重する

単純であっても確実な方法を選ぶ

秘密を守る

限界を認めて適切な専門家へ紹介する

所属機関の方針を守り、スーパーバイザーと協働する

法律的・倫理的・道德上の責任と制限に従う

*地域社会のmentor 兄(姉)貴分・人生の知恵袋としての存在。お手本となる自助努力に対する助っ人の役割*

## ピアカウンセリング基本原則

- 良い、悪い、～すべきなど批判的、評価的と思われやすい言葉づかいや態度をさける
- 相手の言おうとしている内容を理解し、それに対する自分の考え、経験、感情を素直に伝える
- 相手の話の事実や過去の情報にこだわりすぎず、自分の感じていることを大事にする
- 話をする時には、自分自身の考えに責任を持って、「私は」という言い方ではじめる
- 秘密を守る



## 相互支援グループの理念

- 自己選択・自己決定・自己責任の遂行を基本
- 必要なサービスを知り、活用する機会を得る
- だれもがグループに貢献し得る機会
- 人と折り合い・仕事をし・頼りにされる社会的役割を学ぶ機会
- だれもが、他者に対する資源として存在する孤独からの解放を得る機会